

News Letter

「超急性期脳梗塞の新治療」

脳神経外科 細田 英樹

11月11日の高知新聞にも記載されておりましたが、平成17年10月、超急性期脳梗塞の治療薬として、血栓溶解薬であるtPAが認可されました。tPAは血栓を溶解的に溶解する薬剤ですが、認可されるまでに行われた治験の結果より、この薬剤を使用すると、これまでの治療法と比べ、後遺症を少なくできる可能性がありま

す。とすれば、この薬剤を使用した方が良いように思われますが、出血などの合併症を起す危険性もあり、その適応には厳格な基準が設けられております。そのため、脳梗塞を発症された方すべてに使用できるわけではございません。この基準の内、知っておきたい項目として、発症から3時間以内はこの薬剤を使用開始できること、が挙げられます。3時間以内に開始するためには、検査などの時間を考慮し、発症からおよそ2時間以内に病院に到着する必要があります、これまでに迅速な対応が求められます。また、発症時刻が確定されていることも必須であり、倒れているのを発見された場合には最後に元気が確認された時刻が発症時刻とすることとなっております。

当院でも、この治療を行うための準備を進めており、準備が整い次第、適応のある方への使用を開始する所存ですが、時間的な制約の厳しい治療です。つきま

部署だより

災害対策委員会

当委員会では開院以来、火災、震災、その他の災害の予防および人命の安全並びに災害による被災者の救済を目的として、いろいろなことを検討し実施しております。

例えば院内の火災予防上の自主検査・点検、消防用設備の整備・点検を行い、職員にも火気の取り扱いなどを含め教育指導し、万が一に備え通報、避難、消火訓練なども随時実施しております。

また、当院は災害拠点病院に指定されていることもあり、地震など大規模災害が発生した場合を想定し、電気・水の確保や食料・薬・診療材料などの備蓄などについて検討を重ね、入院患者さんをはじめと、多数発生するかもしれない被災者の方々の救済対策についてお話しし、毎年訓練を行っております。

つい先日にも幡多地域16病院の参加のもと大規模災害時救護訓練が執り行われました。今後も、皆様とともに「備えあれば・」となることを願いながらも地道に活動して行きたいと思っております。



救護所で応急処置を受けた被災者が搬送されました



重症の被災者を収容し、病院へ搬送します

【大規模災害時救護訓練から】

くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

今回も、くすのき委員会での検討内容についてお知らせします。ワーキンググループも徐々に活動が本格的になってきています。日々の業務と並行して忙しくなってきましたが、少しでも成果を上げていきたいと思っております。

患者さんの呼び方について

「患者様という呼び方に違和感を感じる」とのご意見がありました。当院では、患者さんの呼び方を特に指定しておりません。職員各自が、その場に合った呼び方を判断すればよいと考えています。

高額療養費制度等について

高額になりがちな入院費。医療費が月ごとに定められた自己負担額を超えた場合に払い戻される高額療養費制度は、利用者も多く、入院案内でも紹介しております。国保では払い戻しの通知が保険者からされますが、政府管掌保険の場合は被保険者からの手続きが必要です。今後、保険者から通知されるとのことですが、申請忘れのないようご注意ください。各種制度についてのご質問がありましたら、病院職員までご連絡ください。

産婦人科の術後検診の予約について

産婦人科の術後検診は、退院後3〜6ヶ月頃に予約診療を行っています。その後の経過により1年後の検診を勧めておりますが、病気は治癒しており術後検診とはしておりません。市町村等の実施するがん検診や一般の人間ドックで充分ですので、予約診療も実施しておりません。ご了承ください。

乳幼児の患者さんへの点滴について

乳幼児の患者さんに点滴をする際には、点滴をする腕以外をバスタオルにくるみ、動かないように看護師が抑えています。職員も他に良い抑え方がないものか悩んでおります。しかし、点滴に針を使用する以上、動かないように子供さんを抑えることは安全面でも重要であり、また、何度も針を刺し直すことも避けられると考えており、ご理解いただきたいと思えます。処置の際には、ご家族にも必要性を説明するように努めます。

病室の清掃について

患者さんがいつ入院されても対応できるように、今後は空室も毎日清掃を行い、気持ちよく入院生活を送れるよう、入院前の病室の確認も確実に行うようにしました。患者さんの退院後には消毒液による清掃をとのご意見もいただきましたが、消毒は耐性菌出現の要因となるため実施しておりません。ご了承ください。

ご意見の集計

17年10月1日〜17年10月31日回収分

- 搬送について(10件)**
 - 産婦人科受診時に予約について電話で問い合わせたのに、予約外の患者の診察開始時刻は予約患者さんの診察終了後になることを教えてくれなかった。このことを当日に受付で言うと、「すみません」の一言もなく「外出してきたらどうですか」と言われ、思いやりが感じられない。
 - 子供が耳鼻科で治療中です。処置が痛いので、いつも泣いて暴れます。先生には舌打ちをされ、暴れないように子供を説得するよう言われます。親としても、子供が暴れて申し訳ない気持ちでいっぱいです。露骨に嫌な顔をしないでください。
 - 詰め所に行って質問をしたら、嫌そうな態度で答えるのはやめて下さい。(ほか7件)
- 待ち時間について(3件)**
 - 以前は婦人科で3時間、今日は耳鼻科で3時間待った。この病院の予約の意味は何ですか? どうか合理化してください。(ほか2件)
- 診療体制について(2件)**
 - 時間外診療では各診療科の医師が常駐するのが常識では? 医師の休みの交代はどのようにでも都合がつくのではないか。病院の体制を変える必要があるのでは。
 - 術後検診を予約制にしてほしい。
- 個人情報について(2件)**
 - 診察室への呼出で、どこの誰が何科を受診しているか近所の人に知られてしまうため、番号で呼び出していただけるとありがたい。できれば希望者だけでも。(ほか1件)
- 感謝(2件)**
 - 診察までは怖かったけれど、先生が優しくよかった。
 - 7階の先生やナースの方に本当にお世話になりました。今後も幡多の中心の病院として頑張ってください。何の心配もなく入院できました。
- 医療技術について(1件)**
 - 点滴の際、子供が動かないように馬乗りになって抑えつけるのはどうかと思います。他の方法はありますか?
- 施設管理について(1件)**
 - 毎日清掃に来てくれたが、クモの巣があったり、ほこりやシミが目につく。使用していない部屋も掃除するとか、退院したら消毒液で拭くとかしてもらいたいです。
- 入院生活について(1件)**
 - ICUの面会は2人までと決まっているのに集団で来る人がいる。看護師も注意する様子がない。家族を心配する気持ちは理解できるが、他の患者は迷惑。きちんと管理してほしい。
- 医療費について(1件)**
 - 入院費の請求書を病室へ持ってきてくれるのに、高額療養費の説明はしてくれない。知人から聞いて制度の存在を知ったが、請求期限を過ぎて手続きできなかった。合計23件でした。

病院の理念	私たちの目指す医療(基本方針)
<ol style="list-style-type: none"> 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。 	<ol style="list-style-type: none"> 正確で間違いのない医療 十分に説明をする医療 透明性を大切にする医療 患者さんの希望を大切にする医療



かぼちゃのクリームブリュレ

季節の食卓
冬は一年で最も夜が長く、昼が短くなる日です。昔から「冬至にかぼちゃを食べると長生きする」といわれ、秋が旬ですが、保存がきくので冬でも食べられる数少ない野菜の一つとして夏に収穫されたものを貯蔵して食べられてきたそうです。実際にかぼちゃはビタミンAをはじめとするビタミン類を豊富に含んでいます。また、貯蔵することにより、でんぷん質が糖質へと分解されより美味しくなります。定番の煮物はもちろん、油と一緒に摂取すると、β-カロテンの吸収率がぐんとアップするので揚げ物等にも良いですし、かぼちゃは冬を乗り切るための大切な栄養源といえるでしょう。寒さが厳しいおり、風邪などの予防に柚子湯に入り、かぼちゃを食べる無病息災を祈る。どちらも冬本番に備える知恵です。

研修予定	患者様向け
<ul style="list-style-type: none"> 11月21日 人工呼吸器取扱研修 11月22日 感染対策研修 11月26日 医療連携フォーラム 11月28日 MCカンファレンス 12月1日 医療安全研修 12月5日 ACLS研修 11月13日 感染対策研修 12月19日 人工呼吸器取扱研修 	<ul style="list-style-type: none"> 12月1日 母親学級 (栄養・妊娠中の異常 母子相互作用) 12月6日 糖尿病教室 (検査と治療目標・食品交換表) 12月8日 母親学級 (妊婦体操・お産の準備 赤ちゃんのお話) 12月20日 糖尿病教室 (インスリン療法 献立のたて方)

10月の統計

外来患者数	17,108人
外来新患者数	2,038人
紹介患者数	318人
新入院患者数	504人
新退院患者数	512人
平均在院日数	17日
救急車・時間外患者数	1,522人
手術件数	193件

幡多けんみん病院における、患者さんの権利

- 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
- 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
- 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
- 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
- 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。